



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

# さわらび

2 筋萎縮性側索硬化症

◆長寿医学研究所 副所長 松山 善次郎

8 特集 輝きのある生活の実現にむけて

2010  
vol.448

8





医学講話

# 筋萎縮性側索硬化症

長寿医学研究所 副所長

松山 善次郎

## 概要および臨床症状

筋萎縮性側索硬化症 (ALS: amyotrophic lateral sclerosis) (以下ALS) は中高年に発症する原因不明の神経難病で、運動神経細胞の脱落がその本態です。

運動神経が脱落する原因はまだまだつきり分かっていませんが、種々の仮説が考えられています。

(1)「グルタミン酸過剰説」グルタミン酸は運動神経の重要な神経伝達物質ですが、過剰になると逆に神経を破壊するという説。

(2)「環境説」日本では、紀伊半島などで、ALS患者の多発を認め、環境因子の何かが原因ではないかという説。

(3)「神経栄養因子欠乏説」神経を成長させたり、傷ついた細胞を回復さ

せたりするのに必要な栄養成分が欠乏することによって、運動神経が壊されるのではないかという説、などです。

日本におけるALSの頻度(有病率)は、平成16年度末の調査によると7007人(人口10万人当り約6人)で、年間発症率は、人口10万人当り0.4~1.9人/年です。患者の平均年齢は55歳で、約2対1で男性に多く認められます。5~10%は遺伝性で、90~95%は遺伝歴の認められない孤発例です。平均生存期間は、人工呼吸器を用いない場合、発症後約3年位で、人工呼吸器装着をする場合は、その後数年と考えられています。

主な症状は、(1)手や指、足の筋力が弱くなりやせ細る(下位運動神経の障害・弛緩性麻痺)。(2)四肢体幹の筋肉のつっぱり(上位運動神経の障害・痙性麻痺)。(3)話しにくくなっ

たり、食べ物を飲み込みにくくなる(球麻痺)。(4)呼吸がしにくくなる。(5)強制泣き・強制笑い、などです。末期まで現れにくい症状として、眼球運動障害・膀胱直腸障害・感覚障害・床ずれ、などがあります。主な死因は、(1)球麻痺症状としての嚥下障害による誤嚥性肺炎、および(2)呼吸筋障害による呼吸困難です。

## 病気としての特殊性および社会的・倫理的特殊性

ALSは、神経難病の中でも最も悲惨な病気であると考えられており、病気としての特殊性に加え、種々の社会的・倫理的問題を提起しています。

(1)「原因不明で根本的治療法が未確立」

1870年代に疾患概念が確立してから、未だ「なぜ、運動神経だけがある時期から突然死ぬのか?」という疑問は依然解明されていません。未だ治療法も確立されておらず、対症療法が主体です。

グルタミン酸仮説を基に開発された神経保護作用を持つリゾールと

いう現在世界で唯一治療薬として承認されている薬剤があります。生存期間を3~6ヶ月延長させる効果があるとされていますが、病状の趨勢には影響がありません。(2)「日常生活動作に多大な介助が必要で、本人・介助者の物心面での負担が多大」

私が診てきたALS患者さんの多くは発症から2~3年の経過で、終日臥床状態となり、日常生活動作ほぼ全般にわたり介助が必要となりました。

ALS患者さんの介護の大変さは、同じ神経難病であるパーキンソン病や脊髄小脳変性症などの患者さんの比ではありません。

ALSが日常生活動作に直接影響のある運動神経の障害が病気の本質であることや病初期より嚥下・呼吸障害が出てくること、さらに病気が進行しても多くの患者さんの知能・意識・感覚が保たれるため、いろいろと介護者に対する要求が増えるためだと思われま

さらに気管切開や人工呼吸器を装着された場合、その管理の大変さも

加わることとなります。

(3) 「全封じ込め症候群」

多くの患者さんは、末期に至るまで感覚・意識・知能は正常であるにも関わらず、最終的には全ての随意筋が萎縮して動かせなくなる「全封じ込め症候群」(TIS: totally locked-in state) となります。

(4) 「人工呼吸器を装着した状態で長期療養できる施設の未整備」

発病後1〜3年で球麻痺や呼吸筋麻痺のため、気管切開や人工呼吸器装着の選択を迫られるようになりま

す。

主治医から、人工呼吸器の装着・胃ろう造設・延命処置などの希望について記入する事前指小書(advanced directive)を求められる事もあります。

人工呼吸器装着の選択をされない場合あるいは出来ない場合は、尊厳死を迎えることとなります。

人工呼吸器を装着した状態で長期療養できる施設が極めて少ないため、在宅療養が出来ない患者さんは人工呼吸器装着を希望されても療養する場所がないのが現状です。

(5) 「緩和ケア体制の未整備」

神経難病の緩和ケアは、未だ広く

理解されず、保険適応もありません。

私の診た複数の人工呼吸器を装着しない患者さんの終末期は、呼吸筋麻痺のため深い呼吸が十分に出来ず、浅い頻呼吸となり、呼吸困難のため夜も眠れず、大変苦しみました。

最近、ALSの終末期呼吸困難の緩和に対して麻薬が有効であるとの報告がなされるようになってきており、麻薬の使用を積極的に検討する必要があるとあります。(Clemens KE, et al. Eur J Neurol 2008; 15: 445-50)

(6) 「終末期医療における倫理的・法的支援体制の未整備」

欧米先進国に比し、日本の終末期医療は、尊厳死・安楽死・事前指示書・代理人制度などの倫理的・法的支援体制の未整備のため、担当医・患者さん自身・家族にその負担が重くのかかっています。その一例が、相模原ALS事件です。

2004年、ALS患者である息子を母親が呼吸器を止めて死に至らしめたことを後悔しており、母親は介護が大変だからと息子を殺したので

はなく、悲観して「死にたい」という息子の願いを叶えてやりたいという切実な気持ちで呼吸器を止めました。

人工呼吸器離脱の権利が認められていない日本において、この母親は殺人罪で起訴され、嘱託殺人罪が適用され、懲役3年・執行猶予5年の有罪判決を受けました。

その後、この母親はうつ病を発症し、自分の夫に「殺してくれ」と依頼し、夫により殺害されており、その夫も嘱託殺人にて起訴されています。

(7) 「オランダにおける安楽死の実態」

ALS患者の安楽死の実態については、1994-1999年に死亡したオランダの279人のALS患者について、その主治医を対象に行われた調査報告があります。

回答のあったALS患者203例中35例(17%)が安楽死を選択し、実際に安楽死し、他の6例(3%)は、医師の自殺補助により死亡したと報告されています。(Veldink JH, et al. N Engl J Med. 2002; 346: 1638-44)

新しい神経難病のQOL評価尺度

従来のQOL (Quality of Life) 評

価尺度では、寝たきりで長生きして適切なケアによって患者が幸せに感じているも、病気が進行する限り決して高く評価されません。

ALS患者さんのように、身体機能が次々と喪失される中で、ケアにより生き生かされている状態をどのように理解し、そのQOL評価が可能なのでしょうか？

難病患者のQOLを理解する上で重要なことは、「根拠に基づいた客観的評価 (EBM: evidence based medicine)」のみでは不十分で、患者個人の固有の価値観、「Narrative (物語)」に基づいた (NBM: narrative based medicine) が重要であると考

えられています。このような背景から、新しい神経難病のQOL評価尺度として、1999年、北アイルランド王立医科大学にてSEIQOL (Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life) が開発されました。

今後、機会がありましたら具体的に紹介させていただきます。

福祉村病院・長寿医学研究所

横浜市立大学医学部  
名誉教授  
日本大学医学部  
客員教授

奥田 研爾  
本多 三男

【長寿医学研究所の感染症関連施設の充実について】

福祉村病院は長寿医学研究所を有し、認知症患者さんなどの治療・介護による生活の向上のみでなく、医学上でも輝かしい貢献をしている神経病理学、免疫学をはじめとする研究や、治療用ペプチドの開発を行っており、医療・研究合併型の世界でもユニークな組織です。今年に入り、愛知医大名誉教授の橋詰先生が来られ、更に、国立感染症研究所の室長をしていた本多が加わり、研究室の内容、スタッフが増え充実して来ました。橋詰先生の研究部所は新たに改装され、

私等が行う微生物の研究をする部に安全で最新の研究が出来る施設の充実が必要となりました。今回、その設備と内容を充実させ、安全な地域社会の充実にいっそう貢献出来るように、長寿医学研究所にバイオセーフティ委員会を組織し、バイオセーフティーレベル（BSL）3の実験室を作り、研究の充実を図ろうとしております。

私達が行おうとしている実験では、外への微生物の拡散を防ぐ実験室が必要となり、通常はプロテクト（保護）を意味するPという文字を使い、P2やP3実験室（ルーム）とされており、（下表を参照）。そのためには、完全に部屋を密閉して、外への空気排出は微生物を完全に除去できるフィルターを通す必要があります。更に大型のオートクレーブ（高圧滅菌器）等が必要となります。

現在、研究所内の方々や業者の方々等と相談をし、少しずつ準備を進めています。勿論、伝播性の高い微生物の研究は国立感染症研究所や、

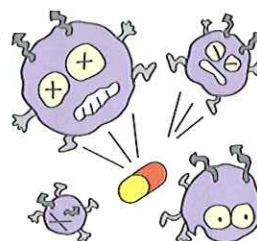
それなりの施設が整った研究室で研究を行う予定にしております。

バイオセーフティ委員会で詳細に規定を定め運営してまいります。そうすることにより新型や鳥型インフルエンザウイルスの広がりを食い止め、結核感染等を最小限に抑え、HIV・AIDSの診断・予防治療法の開発などに寄与することが出来ます。従って健康保持のみでなく、一刻を争う鳥型インフルエンザウイルスなどのウズラや家畜などへの感染を瞬時に診断し、広がりを防ぐことができ、地域社会の人々の健康・安全性と家畜産業の安全な進展を飛躍的に向上させることが出来ます。

幸い、当病院・研究所には病原体の診断や取扱いに長じた医師やスタッフが充実しており、時期を得た、当病院の理念に沿った試みと思っております。

皆さまのご理解とご協力を得て、より良いものに具体化させていきたいと思っておりますので、宜しくお願致します。バイオセーフティー

施設は、医学に関する研究室としては極めて重要な実験室であり、今後整備し、世界に発するようないかなる研究を続けていきたいと思



微生物の危険度分類 (バイオセーフティーレベル、BSL分類)

- BSL1:** 危険性の低いもの (ワクチン株など)
- BSL2:** 個人に対して中等度の危険性があるもの (通常のインフルエンザウイルスなど)
- BSL3:** 個人に対して危険性が高いもの (鳥型インフルエンザ、結核菌、狂犬病など)
- BSL4:** 個人及び地域社会に対し危険性が極めて高いもの (エボラウイルスなど)

# ◎医療法人さわらび会 副理事長就任

**森 澄**先生

Dr. KIYOSHI MORI



7月から新しく医療法人さわらび会副理事長に就任されました  
森 澄先生を紹介させていただきます。

生年月日 1930年7月3日

血液型 A型

専門 消化器外科



### 趣味・特技

スポーツが大好きで学生時代はラグビーや、サッカーに熱中していました。特にラグビーは愛知一中（現旭丘高校）時代に愛知県代表として第一回高校ラグビー大会において花園ラグビー場の土を踏み、開業してからもラグビーは続けていました。今はさすがに現役ではありませんが、現在でも豊橋ラグビー協会の名誉会長としてラグビーにはかかわっています。

また、日本の伝統芸能も好きで平成10年からは豊橋素人歌舞伎保存会の会長にもなっています。

### 福祉村病院の印象

従業員の皆さんの目線が患者さんの高さであり、介護というより奉仕といったも良いくらいの仕事ぶりであり、本当にびっくりしました。自分は医療・介護の立場でしかかわりを持っていませんが、さわらび会全体の様子を見れば、きっとそのどの施設でも同じように患者・利用者さんの目線で仕事をしていることがわかり、頭が下がります。そして福祉村病院は医師の数が本当に多く、またどの先生もすごい経歴の方ばかりで非常に研究熱心なことにも驚きました。

### 仕事への抱負

この病院の方針である患者目線の医療・介護をさわらび会で一生懸命行ってゆきたいと思います。あとは福祉村発信の医療・介護の充実にむけて協力してゆきたいと思います。そして病院から福祉施設、お年寄りから障害者までジャンルが全く違う施設を作り、福祉村としてがんばっているさわらび会の活動をもっと豊橋市など、まわりに評価して頂きたいと思っています。

### 経歴

熊本県生まれ。愛知県第一中学校・第八高等学校を経て、名古屋大学医学部を卒業。その後豊橋市民病院、名古屋大学医学部第一外科消化器外科を経て豊橋市八町通に外科医院を開業。開業後は豊橋市医師会、愛知県医師会等において重要な役職を歴任し、地域医療の充実に多大な功績を残されています。平成22年6月森外科クリニックを閉院、7月より医療法人さわらび会副理事長に就任。

#### 〈豊橋医師会関係〉

昭和49年 理事  
昭和61年 同 副会長  
平成6年 同 会長  
現在 同 顧問

#### 〈日本医師連盟〉

平成19年～  
平成22年4月 会計責任者

#### 〈愛知県医師会関係〉

平成12年 副会長  
平成16年 代議員会議長  
平成18年 代議員委員会 副議長

#### 〈愛知県外科医会関係〉

平成2年 副会長  
平成10年 評議会副議長

#### 〈ロータリー関係〉

昭和46年 豊橋ロータリークラブ入会  
昭和59年～60年 幹事  
平成2年～3年 会長  
現在 シニアアクティブ会員

#### 〈表彰〉

平成6年 愛知県知事表彰  
平成8年 厚生大臣表彰  
平成12年 ノバルティス地域医療表彰  
平成15年 豊橋市勢功労賞  
平成16年 愛知県表彰条例による知事表彰  
平成18年 叙勲 旭日雙光章

## 介護ロボットの 共同開発 人に優しいから人を救う ロボット開発への協力



平成二十二年四月一日 豊橋技術  
科学大学にロボット分野での最先端  
の研究成果を活用することを目的に

「人間・ロボット共生リサーチセンター」  
が工学博士 寺島一彦教授をセンター  
長として設立されました。このセン  
ターの特徴は「地域の医療機関や企  
業と連携を図り、ロボットの技術開  
発の発展的実用化、地域への貢献を  
目指すもの」とされています。そし  
て、超高齢社会に対応するため、リ  
ハビリロボット・介護ロボットと  
知的介護ステーション(※)の開発も  
目的とされ、今回、地域の医療機関

として、開発に向けての協力依頼を

さわらび会が受けることとなりました。

さわらび会では医師・看護師・

理学療法士・介護福祉士等の医療・

福祉の専門家と、利用者である高齢

者、障害者のそれぞれの立場で、安

心・安全・快適なロボット開発に向

けて、この「人間・ロボット共生リ

サーチセンター」に開発協力を行っ

てゆきたいと考えております。(榎原)

※各種センサーやコンピュータを利用し、

介護が必要な高齢者、障害者が暮らしや

すく設計されたルーム。また、介護する人

にとつても快適に介護できるよう工夫さ

れたルームである。



## 事業所移転のお知らせ

～障害者居宅介護事業所 田原～

平成17年7月より、田原市東赤石で事業を開  
始して5年が経ちましたが、8月1日より事務所  
を移転することとなりました。

新事務所は赤羽根福祉センター内に設け、こ  
のことに伴い同センター内にある田原市障害者  
生活支援センター及び地域活動支援センター「な  
のはな」との連携が強化され、田原市における  
障害者施策を支援するうえで、更に強化・充実  
することが可能になります。なお、この3事業所  
を一括して「第3福祉コンビニ赤羽根」と呼ぶこ  
としております。今後ともよろしくお願ひ致  
します。(野口)

### 新住所➡

田原市赤羽根町赤土1  
赤羽根福祉センター内

### TEL ➡

080-6974-3268



## お口から若返り教室

～特別養護老人ホーム さわらび荘～



7月1日(木)青陵地区市民館にて、「お口か  
ら若返り教室」を開催致しました。広小路歯科  
の大賀将志先生、愛知県歯科衛生士会の歯科衛  
生士の方を講師に迎え、お話をしていただきま  
した。

いつまでも美味しく、楽しく食事をするために、  
食べることや飲み込む力を維持することの大切  
さについての講話と、お口の機能を保つために、  
歌に合わせて舌の体操や早口言葉を体験してい  
ただきました。

今後とも地域の皆様に、予防をすることの大切  
さについて、お  
話やお手伝いを  
してゆきたいと  
思っております。  
(勝山)



## 福祉村病院 看護部症例研究 「指差し呼称」 徹底するための 取り組み

看護部では二年前より、「症例カンファレンス」を行っています。「症例カンファレンス」という言葉を聞くとは何か難しそうな気がしていますが、簡単にするための説明をさせていただきますと、「各フロアの看護スタッフが自由なテーマで看護について研究発表を行い、看護部全体で互いに学びあつてレベルアップを図り、より良い福祉村病院を築いていきましょう」ということとなります。

今回2病棟3階では、「指差し呼称を徹底するための取り組み」と題して研究発表を行いました。「指差し呼称」とは、ミスやエラーを防ぐために、自分が作業を行おうとする対象物を実際に指で差し、その名称と状態を声に出して間違いないかを確認することです。「指差し呼称」の有用性は、医療現場だけではなく、

他の様々な分野でも認識され、取り入れられています。

この「指差し呼称」を徹底するために、スタッフ全体でカンファレンスを行い、それぞれが協力して2病棟3階独自の「指差し呼称マニュアル」を作成いたしました。まだまだ徹底できていない部分もありますが、日々の業務の中で指差し呼称を定着させ、安全で活気のある職場を目指して頑張っていきたいと思っております。

(福祉村病院2病棟3階)

看護主任 足立 尚人



## 福祉村保育園だより フィンガーペインティングと夏野菜の製作



つめたくて、きもちいいね!

大きく広がっていくよ、たのしいね。



トウモロコシにトマト、なすにきゅうり、おいしい夏野菜をたくさん作ったよ。



## 利用者と職員が共に学ぶ学習会

～軽費老人ホーム 若菜荘～

若菜荘では、入居者への情報提供と職員一人ひとりの意識向上を目的として荘内学習会を始めました。栄養士や介護士又は、外部の講師を招き、入居者と同じ立場になって一緒に勉強を行っています。

7月は、福祉村包括支援センター職員の三田久子さんによる『認知症の理解と予防法』について約65名の入居者と職員が参加しました。認知症がどのような病気であり、どう接していったらよいか等を寸劇を交えて分かりやすく教えていただき、その後自分が病気にならないための予防方法の説明と簡単な脳トレを行いました。

荘内での勉強会が開かれることによって、入居者の方も「気軽に勉強ができて嬉しい。」「これからも色々な話を聞きたい。」「脳トレを部屋でやっているよ。」との意見がありました。

今後も入居者の方々が知りたい事、知っていて欲しい事を伝える学習の場として活用してゆきます。(坂牧)

# 輝きのある 生活の実現にむけて

さわらび会では「人間は、それぞれが与えられた能力を伸ばしながら、自立して自由に生き、しかも、まわりの人の役に立つ働きをする時に、最高の幸せを感じるものです。」(山本理事長)

という理念の実現にむけて様々な支援を行わせていただいています。今回の特集ではその理念をまさに実現し、輝いている利用者の皆様をご紹介させていただきます。

## 珠藻荘◎稲垣ひとみさん 新たな挑戦を続ける

現在、珠藻荘にて自治会長を務めておられる稲垣ひとみさん。稲垣さんは常に新たなことに挑戦しようとし、課題をもって活動をされています。

今年で、珠藻荘の自治会長を務めることになって三年目になりますが、女性の方で自治会長となられたのは稲垣さんが初めてでした。もっと利用者の声を施設に伝えたい、利用者同士の生活をもっとよくしていきたいという想いから就任され、これまでに頑張っておられています。

さらに、施設内の活動だけでなく、地域の方々にも障害者について、福祉についてもっと知ってもらいたいという願いから、小学校や中学校に加えて、最近では七月四日にあいトピアで行われた「肢体不自由者ガイドヘルプボランティア講習会」にも参加し、様々な場所で講師を務めておられます。

このように幅広い活動をしている

稲垣さんですが、「まだまだ、地域での講演会や活動で得てきたことを珠藻荘の他の利用者につましく伝えられていない。」と、課題を口にされます。

現在の活動だけに満足せず、常に課題をもって取り組んでいこうとされる稲垣さん。珠藻荘利用者のため、地域のみなさんのため、そしてご自身の目標達成に向けて、さらなる活躍が期待されています。



● 講演する稲垣さん(左)

## 写真家 若菜荘◎山本義勝さん

今年で九〇歳になる山本義勝さんをご紹介します。現在、山本さんは



● 笑顔でパチリ

その人柄と人徳をかわれ、若菜荘自治会の会長に選任され頑張っている人の一人です。また趣味の一つである写真は数々の賞を受賞するほどの腕前です。

山本さんは大正九年に北海道で生まれ、一九歳から現在まで趣味である写真を続けられています。戦争や仕事の関係で一時中断せざるをえないこともあったそうです。しかし、子育てが一段落した昭和三十六年頃より再開され、国際文化カレッジ主



催の講座も受講しました。その講師より総合写真展への出展をすすめられ、第四回より毎年参加されています。また若菜荘では自ら音頭をとり写真同好会を発足させ、気の合う仲間と月一回のペースで活動し、荘内には常に四季折々の写真が飾られ華を添えています。

今後も笑顔の絶えない山本さんが元気に若菜荘で暮らしていけるように応援してゆきたいです。

### あかね荘◎大島さん・古満さん マッサージの勉強

あかね荘では、平成一七年六月から毎週金曜日に、マッサージ教室が開かれています。鍼灸マッサージ師・スポーツインストラクターの梶山先生ご指導の元、利用者の大島さん・古満さんの二名が練習に励んでいます。

この教室が始まったのは、施設で暮らしている中、「人の役に立ちたい」「人に必要とされたい」という利用者さんの想いに、先生がマッサージという形で応えたことがきっかけ



●真剣なまなごしの古満さん(左)と大島さん(右)

でした。練習相手になっている職員や知り合いの方から、「気持ちいいよ」と声を掛けてもらった時の御本人達の笑顔は、本当に輝いています。「人の役に立てた」という喜びが、笑顔となって現れ、またマッサージを行う動作を通して、気持ちも穏やかになり、日々の生活にもいっそうやる気が見られるようになりました。先生は、「練習を続けてきて上手になった実感を得ているようで、マッサージ後には自信を持った良い表情が見られるようになりました。」と、嬉しそうにお話してくださいまし

た。

普段関わる職員とは違った支援を先生からいただくことで、御本人達は「将来は、マッサージ屋さんをやりたい」という大きな目標を見つけました。人の役に立ち、相手も自分も笑顔になれるマッサージを、これからも頑張っていけます。

### 第二さわらび荘◎鈴木禮子さん 書道に生きがい

第二さわらび荘に御入所されている鈴木禮子さんが精力的に取り組んでいるのが、書道です。その腕前は、このさわらび誌の誌面を何度も飾っているほどです。

現在、第二さわらび荘では月二回講師をお招きして書道教室を開いています。その教室を通してだけでなく、日々の生活の中で書道を行い、月に一度のさわらび誌の誌面を飾れるようにと毎月作品を出されています。

また、それだけに留まらず、墨で書いたカレンダーを作るなど、禮子さんの創作活動は広がりを見せてい

ます。

書道教室は三年ほど前から行っていますが、禮子さんにとってはそれが生活の一部であり、生きがいとなっています。

第二さわらび荘職員としても、この生きがいを持ち続けられるよう継続して支援し、いつまでも輝き続けていただけることを願っています。



●今月の裏表紙を書いていたいただきました

その他にも福祉村では多くの方が日々の生活を充実しようと様々な活動をされています。今後も機会があれば誌面で紹介させていただきたいと思えます。

(鳥居・坂牧・小笠原・金森)

緊急参戦

# 山本左近 魅せる

3年ぶりにF1復帰を果たした左近選手。舞台はイギリスシルバーストン。経験、ポテンシャルの高さを活かし、エキサイティングなバースデイランをみせた。



## F1イギリスGP

「山本左近、F1レースに3年ぶりに復帰！」

電撃的で、そして日本中のファンが待ちこがれていたうれしいニュースが飛び込んできた！

F1第10戦イギリスGPにて、それまでレギュラードライバーとして出走していたブルーノ・セナに代わり急遽レースに出場することが決まったのだ。レースでの出走となると、2007年の最終ブラジルGP以来実に3年ぶりの出場となる快挙であった。

おりしも、フリー走行1回目が行われる7月9日は左近選手の28回目のバースデーであり、左近選手にとっても私たちファンにとってもビッグなプレゼントとなった。

疾走！激走！  
GP決勝レース

そして、ついに始まったGP決勝。左近選手をしてこのシルバーストンのレースサーキットは、「ドライバーにとってとても挑戦しがいのあるサーキット」と語るように、非常に難関なコースである。事実、決勝のレースにおいては、多くのドライバーがリタイアしてしまうなど、タフなレース展開となった。

スタート直後クラッチの不具合で「一瞬ストール（失速）しかけた」スタートに続き、4〜5週目からはフロントのグレイニング（タイヤが部分的にめくれ上がってしまう状況）が進み前を走る僚友チャンドックとは差が少しずつ開いていった。

しかし20週目にピットインしてプライム（ハード）タイヤに換えてからはペースが戻る。その後はチェッカーまで僚友を上回るペースで好バトルを展開した。左近選手もレース後「タイヤを換えてからはチャンドックよりもペースが良かったと思います。なんとかオーバーテイクしようと思ったけど、ダウンフォースが必要なコースなので、最後は抜けないんですよ。でもゴールまでブッシュし続けたし、レース感も失われていなかったです。」と語っている。



## 優れたレースマネジメント能力

このような、過酷なレースの中、左近選手は冷静にマシンの潜在能力を最大限に引き出す走りを展開し、最後まで粘り強い走りをみせ、3年ぶりとなる復帰戦にしてGP決勝レース完走という確かな手応えをつかんだ。

なにより、左近選手の真骨頂として示したのがレース内での最速で刻んだ一周の速さをあらかずファステストラップのスピードであった。これは、ドライバーのポテンシャルを示す重要なものとされる。しかも、タイヤ、そしてレーサーの集中力も消耗しラップを上げることが困難な終盤の50週目に僚友チャンドックをコンマ4秒上回るラップをたたき出した所に左近選手のレースマネジメント能力の非凡さが現れており、担当エンジニアも「素晴らしいレース運びだった。サツカーで言えば10点満点で8点の出来」と絶賛している。

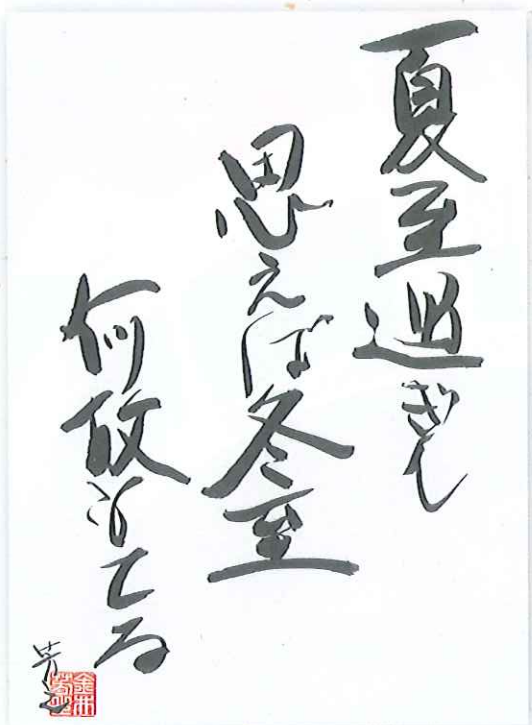
レース後、左近選手は、「再び

F1でレースをすることはいい経験でした。ここシルバーストンでレースをするチャンスを与えてくれたチームに感謝しています。コックピットに戻る準備ができていることを示せましたし、再びレースをするチャンスが得られるときはいつでも準備はできています。ずっと僕を応援してくれたファンにも感謝したいです。」と締めくくっている。

今回28歳の誕生日から始まったビッグチャンスに左近選手はしっかりと結果を出しF1レーサーとしての実力を周りに証明した。なおかつ次戦ドイツGPにおいてもレースシートを自身の力でつかみ取る快挙をも成し遂げてしまった。ドイツGPでもきつと熱い走りを見せてくれることであろう。

夢を実現する素晴らしい走りがノンストップで加速されていく!!

(鳥居)



温めることが出来るなど、日常生活に直結している。極論だが生活条件が悪い方が文化が生まれるというところかも…

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之



夏至過ぎし

思えば冬至

何故もてる

今年も気がつけば一年で一番日照時間が長い夏至が過ぎてしまった。一年で一番日照時間が短い冬至は、あと何日という一種の期待感があるのだが、夏至にはそれがなく知らずに過ぎてしまう。その理由は多分、夏至にはそれに因んだ格別の行事もなく、通例であれば梅雨の真っ只中、そして今から何かが始まるという期待感もない。一方、冬至と言えばカボチャを食することや柚子湯が直ちに連想される。前者で金運を掴み、後者は極めて安価な方法で体を温めることが出来るなど、

平成22年度 さわらび大学公開講座開講のお知らせ

☆参加費無料でどなたでも受講できます

8月のさわらび大学

- 8月12日(木) 「高齢者の心理」  
講師 ▶ 軽費老人ホーム若菜荘 施設長 武田 和敏
- 8月26日(木) 「肩こり腰痛の予防と対処法」  
講師 ▶ 老人保健施設ジュゲム 理学療法士 西村 公彦

9月のさわらび大学

- 9月9日(木)、30日(木) 調整中

10月のさわらび大学

- 10月14日(木)、28日(木) 「レクリエーション講座」  
(2回シリーズによる講義と実践)  
講師 ▶ 豊橋レクリエーション協会会長 阿部 弘子

平成22年度のさわらび大学の開催

時間 ○ 第2・4木曜日、午後3時～4時  
会場 ○ 福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講座内容へのご意見、ご要望などございましたら下記までお問合せください。

◎お問い合わせ、受講申込み

軽費老人ホーム若菜荘  
☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

いかり先生の  
**“お遍路さん”**  
 第49回  
 四国八十八ヶ所霊場めぐり  
 ● 仙人と犬塚池  
 福祉村病院副院長 伊苅 弘之

第五十七番府頭山栄福寺から第五十八番作  
 礼山仙遊寺までは約三キロ、徒歩一時間、車で  
 一五分。

仙遊寺は標高三〇〇メートルの作礼山の山頂  
 にある。十二月下旬の日暮は早く、午後四時を  
 過ぎたばかりなのに薄暗い。駐車場からすぐの  
 ところに新しい仁王門がある。阿吽の仁王像が  
 通る者をにらみつける。「この仁王像は恐いね」  
 と小四の娘。「悪い人は入れないように見張っ  
 ているのだよ」と母。

仙遊寺は六六三年に天智天皇の勅願により伊  
 予の国主越智守興が開基した。その後六八〇年  
 頃に阿坊仙人という僧が参籠して四〇年間ここ  
 に住んで諸堂を整えたが、七一八年に突然その  
 姿が消えてしまった。仙遊寺という寺号はこの  
 阿坊仙人の伝説による。

仁王門をくぐ  
 ると急な坂道が  
 続いて、さら  
 に石段を上が  
 るとやっと境内  
 に出た。境内か



らは今治市街が眼下に広  
 がり、その向こうに瀬戸  
 内海、そこに小さな小島  
 が点在していた。「もつ  
 と明るいと、もつと綺麗  
 だったね」と中二の娘。  
 「夕暮れも情緒があるよ」  
 と母。「どこからが空で、  
 どこからが海かわかんね。」私は阿坊仙人も  
 同じ景色を見ていたのだらうなと思った。



その昔、第五十七番栄福寺と第五十八番仙遊  
 寺は同じ住職が兼務していた時があり、その頃  
 一匹の黒い犬が寺の用務係をしていた。山の  
 上の仙遊寺で鐘が鳴れば山を駆け上り、栄福寺の  
 鐘が鳴れば山を駆け下りる利口な犬だった。あ  
 る時、上と下の寺の鐘が同時に鳴った。その黒  
 い犬はどちらに行けばいいのか訳がわからなく  
 なり、これでは寺の用務係はつとまらないと思  
 い、池に身を投げてしまった。これを悲しんだ村人  
 は池の湖畔に犬塚を設けて、その池を「犬塚池」  
 と呼ぶようになった。「かわいそうにね。立派な  
 犬だったのにね、働き過ぎて疲れ果てたのかなあ」  
 と妻。「犬にも、うつ病があるのかもね」と私。  
 参拝を済ませ、帰り道で写真を撮った仁王門  
 のあたりは暗くなり、ひんやりと澄んだ空気が  
 流れるように漂っていた。阿坊仙人とあの黒い  
 犬がもし今ここに現れても何気なく見過ごして  
 しまったに違いない。

Vol. 30  
 relay column  
**さわらび会  
 のわ**

福祉村病院 さくら通り病棟看護師長  
**宮本 圭子**



「夏 我が家にとつ  
 て、待ちわびていた  
 季節の到来です。今年  
 はこの海? キャンプ? と張り切る主人と娘。  
 女性として美白の大切さを訴えても、誰も  
 聞いてはくれません。

どこに行く、何を  
 する、何を作る? から  
 始まり、買い物や準備  
 にと行く前から大騒ぎ。  
 キャンプ場に到着し  
 ば着いたでやることは  
 盛り沢山。主人と娘は  
 テントの設営、私は  
 食事の準備と意外に  
 忙しい。自然に囲ま  
 れてのんびり、なん  
 てなかなかできません。  
 それでも、多少ご飯  
 が固くても、おかず  
 が少々焦げていても、  
 ランタンの灯りの下  
 で食べるご飯の美味  
 しさは格別です。

夜は虫の声に耳を澄  
 ませ、満天の星空を  
 眺めながら飲むコー  
 ヒーもまた味わい深  
 く、なんてロマンチ  
 ックでもなく、ひた  
 すら虫と暑さとの闘  
 い。こんなキャンプ  
 も、今では恒例行事  
 。あと何年娘がつい  
 てくるかはわかりま  
 せんが、いつかは主  
 人と二人、テントと  
 寝袋片手に日本中  
 を旅行するのが私  
 達の夢です。

次回は、あかね荘看護師 柳知子さんです。

**◆福祉村病院・シユゲム**  
 6月16日 第二病棟家族会  
 17日 朝食情報交換会(理事長出席)  
 18日 朝一さくら通り病棟家族会  
 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(つしげ丘地域福祉センター)にて伊弉諾の副院長が助言  
 19日 日総研主催の公開セミナー「TKP代々木ヒルズセンター・東京都」にて伊弉諾の副院長が「認知症高齢者の食へない、入浴しない、眠らないへのアプローチとケア」について講義  
 医療安全委員会  
 理事長が愛知医大にて講義  
 橋先生によるCPC(理事長出席)  
 さわらび大学「コミュニケーションスキルアップ研修」株式会社ハートネット代表取締役近藤敬子  
 消防査察  
 早稲田集会(理事長出席)  
 豊老協全体会(豊橋市商工会議所)にて伊弉諾の副院長が「認知症介護こんな時どうする」について講義  
 地域交流意見交換会「地域ケアを考える」(医療法人社団誠道会新瑞沼ヶアクリニッパ・岐阜県事務所)にて伊弉諾の副院長が講演と助言  
 地域密着サービス事業所「常盤」の地鎮祭に理事長出席  
 鹿兒島県老人福祉施設協議会主催の講演会(霧島ロイヤルホテル・鹿兒島県霧島市)にて伊弉諾の副院長が「BPさわらびの対応について」講義(7月8日)  
 さわらびの大学「介護の基礎知識」さわらびの大学にて理事長が「成功長寿」について講演  
 シユゲム幹事会  
 愛知県認知症介護実践者研修会(愛知県社会福祉会館・名古屋市中)にて伊弉諾の副院長が「認知症の医学的理解」について講義  
 15日 シユゲム家族会  
 第一・さくら通り病棟家族会

**◆さわらび荘**  
 6月17日 県社協社会福祉レクリエーション研修会(森原・深谷 名古屋)  
 体操若返り教室(松下・勝山・金田 東陸地区市民館)  
 包括業務打ち合わせ会(松下 市役所)  
 22日 東海北陸ブロック老協協同研究大会(施設長・藤原・渡邊憲・松下・田沼・小久保・中村・中野 名古屋) 23日 社会福祉士職種別ケア会議(勝山 つしげ丘老人福祉センター)  
 県社協福祉施設新任職員研修会(後藤 名古屋)  
 豊橋市共通運動機能評価・運動プログラム説明会(白井秀 名古屋)  
 ケアマネ研修会(山本雅 名古屋)  
 愛老協QCC研修会(山本雅 名古屋)  
 ケアマネ相談窓口(浅見 名古屋)

**◆若菜荘**  
 6月22日 東海北陸ブロック老協協同研究大会(施設長・安立 名古屋) 23日 本郷中学校体験学習5名(22日)  
 各級別会議  
 豊老協全体会(宮脇・坂牧 豊橋商工会議所)  
 食生活会議  
 牟呂中学校体験学習5名  
 不在者投票  
 若菜会地域活動日  
 認知症勉強会  
 野依台夏祭りに参加  
 愛老協施設長会議(施設長 名古屋)  
 全縣協東海北陸ブロック役員会(福井)

**◆あかね荘**  
 6月16日 支援会議1  
 障害基礎講座(野口・足立・粕谷・大久保 岩崎学園)  
 誕生日会  
 プロボル観戦  
 支援会議1  
 障害者(児)福祉施設直接処遇職員初級研修(須藤・中川・林田・宮地 愛知県社会福祉会館)  
 語りへの会  
 フリリアン慰問  
 栄貴士研修会(小田 社会福祉法人愛光園まどか)

**◆若菜荘**  
 6月22日 東海北陸ブロック老協協同研究大会(施設長・安立 名古屋) 23日 本郷中学校体験学習5名(22日)  
 各級別会議  
 豊老協全体会(宮脇・坂牧 豊橋商工会議所)  
 食生活会議  
 牟呂中学校体験学習5名  
 不在者投票  
 若菜会地域活動日  
 認知症勉強会  
 野依台夏祭りに参加  
 愛老協施設長会議(施設長 名古屋)  
 全縣協東海北陸ブロック役員会(福井)

**◆あかね荘**  
 6月16日 支援会議1  
 障害基礎講座(野口・足立・粕谷・大久保 岩崎学園)  
 誕生日会  
 プロボル観戦  
 支援会議1  
 障害者(児)福祉施設直接処遇職員初級研修(須藤・中川・林田・宮地 愛知県社会福祉会館)  
 語りへの会  
 フリリアン慰問  
 栄貴士研修会(小田 社会福祉法人愛光園まどか)

**◆各施設**  
 6月17日 朝食情報懇談会  
 文化祭実行委員会  
 JICA視察  
 常磐地鎮祭  
 障害者担当会議  
 在宅医療福祉部会議

**◆しろがね**  
 6月16日 さなえ会おやつ奉仕  
 障害基礎講座(村上・藤原 岩崎学園)  
 本郷中体験学習打ち合わせ  
 TFM合唱団来社  
 新任職員研修会(本間 県社協)  
 本郷中生徒体験学習4名(22日)  
 TFM合唱団来社  
 牟呂中生徒体験学習3名  
 さをり織り指導者養成講座(朝倉 名古屋)  
 職員接遇研修会(岡田 県社協)

**◆明日香**  
 6月16日 障害基礎研究(野口彦坂 岩崎学園)ケニス会議  
 県社協専門実践者研修受け入れ3名(28日)  
 新規採用者研修(山崎 名古屋)  
 全国社会就労センター総合研究大会(山本 神戸)  
 直接処遇職員研修(市川・楠 名古屋)列谷)  
 デンソー社会貢献イベント販売(山本 列谷)  
 ボランティアセンター運営委員会(施設長 あいとり)  
 社会を明るくする運動(東三生保護会)販賣(アトリ工辻むら 10日)  
 本郷中学校体験学習2名(22日)  
 就労支援事業会計研修(施設長・藤井 名古屋)  
 牟呂中学校体験学習2名  
 原原福祉専門学校実習受け入れ  
 栄貴士マネージメント研修(菅沼 名古屋)  
 福祉施設の接遇研修(藤井 名古屋)  
 工賃支給日  
 自治会  
 回診日  
 家族会ランチバイキング(浜名湖レイクサイドプラザ)  
 野依台夏祭りさわらび太鼓参加  
 デンソー販売

## さわらび会後援会寄附ご芳名

平成22年6月15日～7月14日

浜松市北区三ヶ日町三ヶ日904-2	黒柳雅光氏	27,565円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
住所未掲載(本人希望)	塚本啓作氏	5,000円
市内入舟町21	㈱三恵薬品	20,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモブランド	10,000円
新城市南畑74	光田屋㈱	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内壹町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	㈱スズケン	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内東田町154	磯竹田商店	10,000円
市内東鵜三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海㈱	10,000円
市内野依町字山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	14,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。  
計 **225,565円**  
現在までにご寄附いただきました金額は  
**833,579,024円**

## インド福祉村協会寄附ご芳名

平成22年6月11日～7月10日

名古屋市守山区向台2丁目1302	藤本寮子氏	10,000円
名古屋市守山区小幡中1-29-14	嶋田 智氏	10,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,200円
市内東岩田2-16-6	出井信行氏	1,000円
市内野依町字山中19-16	谷 さゆり氏	35,000円
名古屋市東区出来町1-7-8	小林智弘氏	5,000円
大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字観教室	5,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	10,000円
春日井市味美白山町2-7-2	大坪照美氏	3,000円
静岡県浜松市篠原町1160	山崎玲子氏	1,000円
名古屋市天白区平針台1-401	竹内照子氏	10,000円
岐阜県可児市広見755-4	古川 克氏	5,000円
東京都中央区湊2-16-25-202号室	パブリックリソースセンター	1,165円
長野県長野市平林1丁目6-11	降旗伸子氏	3,000円
埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-196-1	市川雅英氏	5,000円
尾張旭市旭台3-15-4	芝山章子氏	10,000円
東京都新宿区下落合2-21-14-403	山内土具氏	100,000円
名古屋市名東区亀の井1-72-1-203	村田謙治氏	1,000円
瀬戸市原山町120	山口 健氏	3,000円
埼玉県本庄市本庄3-1-21	梅村孝雄氏	10,000円
奈良県御所市今住700-1	米田一榮氏	10,000円
大阪府大阪市平野区加美南2-5-2-1117	飯田邦江氏	10,000円

計 **251,365円**

### 募金方法(インド福祉村)

- 振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座  
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
- 連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

### ●福祉用具紹介のコーナー

## 高通気マットレス AW-90 レスAV

### 湿気がこもらない新世代のマットレス

抜群の通気性を持ち、両端が硬いのでベッドの端に腰掛けた時、姿勢が安定します。  
キルティング仕様のカバーは寝心地も良く、ご家庭での丸洗いも可能です。



### 問い合わせ先

要介護2以上の方なら  
ベッドと合わせてのレンタルが可能です。  
価格はお問い合わせ下さい。

- 福祉村指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 46-3566
- さわらび指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 54-7377
- 福祉村病院訪問看護部 ☎(0532) 46-7511(代)
- 福祉サービス株式会社 ☎(0532) 66-1011

(福祉村指定居宅介護支援事業所 鳥山)

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人

さわらび会後援会からの  
お願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 神野信郎

- お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

### ＊お礼コーナー ありがとうございます＊

※印は豊橋善意銀行を通して

- ▼みかわ天国堂様 水ようかん寄贈※  
(明日香・珠藻荘・あかね・しろがね・第二さわらび荘)
- ▼長坂様 ネギ寄贈※(明日香・珠藻荘)



柴田 恵美子 (第二さわらび荘)



花火  
 禮子書

鈴木 禮子 (第二さわらび荘)



編集後記

その人の「生きがい」を支援する。これは私達医療・福祉職のように人を支援する職業の者にとって大変重要なテーマです。さわらび会でも特集に掲載させて頂いたように、各施設、病院でこの目標にむかって様々な取り組みを行っています。今回ご紹介させて頂いた5名の皆様は「自分の生きがいを持って毎日を本当に生き生きと生活されています。紙面上ではそのほんの一部分しかご紹介出来ないのが残念なくらいです。そしてこの方達の活動はその施設、また他の利用者の皆様にもすばらしい影響を頂いています。また、今回ご紹介させて頂いた第二さわらび荘の鈴木禮子さんの書道作品についてはこの裏表紙にも掲載させて頂いていますのでぜひご覧下さい。このように病院・施設でがんばっている利用者の皆様の活動は、これからこのさわらび誌で皆様にお伝えさせて頂きます。(江川)

〔表紙写真〕「夏の思い出」平木場郁央(明日香利用者)

充実した医療と福祉  
 みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之  
 医療法人

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 富(0532)54-3501  
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ 富(0532)37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘 富(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 富(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 富(0532)48-2825
- 福祉村病院 富(0532)46-7511
- グループホーム白珠 富(0532)66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香 富(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね 富(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町) 富(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 富(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 富(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム 富(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託) 富(0531)45-3828

さわらび

2010年8月1日発行 早蕨 第448号 毎月1日発行  
 (昭和62年2月21日第三種郵便物認可)  
 編集責任者・江川和郎 印刷・共和印刷(株) 定価・100円